

## 小学校社会科学学習指導案

1. 小単元 「昔の地図から分かること」

2. 目 標 江戸時代に作られた岡山県南部の地図を見て、現在の岡山県南部の様子との違いに気づき過去の事実を探究する面白さを感じることができる。

3. 学習の展開

過程	学習活動	教師の指示・予想される生徒の回答	指導上の留意点
導入	1. 学習課題の確認	○地図を提示していつの時代の何を描いたものかを問う。 ・地図。 ○備前の国の絵図であることや描かれた時代を説明する。 課題：絵図に描かれていることを読み取って、今の岡山との違いを明らかにしよう。	・備前慶長国絵図を提示する。
展開	2. 絵図について気付いたことを発表する。	○この絵図に描かれているものをノートに書かせ発表させる。 ・山、川、城、村や郡の名前、方位等。 ○現在の地図と比較して気付いたことをノートに書かせ発表させる。 ・中央左下に岡山城がある。 ・方位は今と同じ。 ・九つの郡がある。郡の中の丸印に何か（地名）が書かれている。 ・小さな丸印の色が違っている。線で繋がられている。 ・川が二つ（旭川と吉井川）がある。 ・児島が島になっている。児島の山の向きが違う。	・岡山県の現在の地図と見比べさせる。 ・グループ学習にしてもよい。
	3. 絵図に描かれていることに疑問をもち、絵図に興味を持つ。	○気付いたことをポストイットに書いて、黒板にはった地図に貼り付けていく。 ○気付いたことの中で疑問に思ったこと、調べてみたいことを発表させる。 ・児島とは何か。その間の海は何か。 ・児島にある城は何か。 ・山の向きが違うのはなぜか。 ○絵図の解説を読ませたり、教師自身が解説をしたりして疑問に答えていく。 ○400年前の岡山は現在の岡山とどのように違っていたか。 ・郡や村の名前の違い。 ・児島が島であったこと。	・気付いたことをクラスで共有させる。  ・教師が説明してもよい。
終結	4. 学習のまとめをする。	○古い地図から何を読み取ることができたか。 ・現在との地名の違い。 ・地形の違い等。	